

受章おめでとうございます

# 平成19年 秋の叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章が発表され、長年それぞれの分野でその進展に尽くされた功績により、市内からは叙勲に4人、褒章に3人が栄誉に輝かれました。

## 旭日中綬章



佐藤正春さん(76)  
竹山町

地方自治功労  
元県議会議員

一関市出身。昭和38年から旧一関市議5期、58年から平成19年まで県議6期を務め、長年にわたり市政、県政の発展に尽くされました。平成元年に地方自治功績により藍綬褒章を受章。「政治は福祉なり。日の当たらない弱者に力を与えるのが政治と考える議員活動に当たってきた」と語り、現在も、社会福祉法人総括理事長として高齢者、障害者の福祉向上のため活躍されています。

## 瑞宝双光章



佐藤健さん(70)  
花泉町浦津

消防功労  
元両磐地区消防組合消防正監

一関市花泉町出身。昭和39年旧花泉町消防団常備部に入り、47年両磐地区消防組合職員。千厩、一関両消防署長、消防本部総務課長、消防次長などを務めて平成4年から8年まで消防長を務められ、消防業務に尽くされました。「与えられた仕事をひたすら務めてきただけ。長年務めることができたのも職場の上司や先輩、同僚の皆さんの支援、指導のおかげです」と語られました。

## 瑞宝双光章



鈴木孝志さん(81)  
東山町長坂

消防功労  
元東山町消防団長

一関市東山町出身。昭和21年旧長坂村消防団に入り、旧東山町消防団で分団長、副団長などを務めて平成5年から9年まで団長を務められ、消防業務に尽くされました。「消防精神を養おうと入団しましたが、結果として人のためにもなったのだと思います。51年余りの消防人生を全うできたのは家族のおかげ。今後も自分にできることで世の中に尽くしたい」と語られました。

## 瑞宝単光章



佐藤正さん(62)  
室根町矢越

消防功労  
元両磐地区消防組合消防司令

一関市千厩町出身。昭和44年旧千厩町消防団常備部に入り、47年両磐地区消防組合職員。千厩、室根、大東各消防署、消防本部勤務を経て千厩消防署副署長を務められ、消防業務に尽くされました。「思いもかけない受章。いつ出動命令があるかわからない不規則な生活で大変な思いをさせた家族、そして職場の先輩・同僚の支えがあつてのことと感謝しています」と語られました。

## 瑞宝単光章



菊地昭彦さん(66)  
狐禅寺

矯正業務功労  
元法務事務官

宮城県大河原町出身。昭和37年法務事務官となり、盛岡少年刑務所勤務などを経て、同一関拘留支所矯正処遇官、副看守長として受刑者などの矯正指導に当たられました。「母からの、社会人の門出にと贈られた印鑑と『自分で選んだ仕事、最後までやり遂げなさい』の手紙。この二つを宝に、地域の方々や職場の皆さん、家族の支えで、職務を果たすことができました」と語られました。

## 緑綬褒章



中島恵子さん(84)  
山目

社会奉仕活動功績  
社会福祉施設等奉仕者

北上市出身。小学校教諭退職後の昭和56年に一関婦人ボランティアの会、一関市地区婦人赤十字奉仕団に入会。平成6年から15年まで同会長として地域福祉の向上に尽くされ、現在も福祉施設での習字ボランティアなどで活躍されています。「千葉子工子初代会長の努力と、心を一つにした会員の皆さんの活動のたまもの。その代表としての受章と思っています」と語られました。

## 藍綬褒章



下川原幸悦さん(79)  
大東町鳥海

統計調査功績  
元農林業センサス調査員

一関市大東町出身。農業の傍ら昭和25年から長年にわたり農林業センサスや国勢調査員として、統計調査業務の推進に尽くされました。「誰かがやらねばならない仕事。当たり前のことをやってきただけで、思いがけない受章」と謙遜しながら、「回収や聞き取りのため、時には何度も訪問するなど苦勞もありましたが、家族の協力で務めることができました」と語られました。

## 藍綬褒章



千葉良市さん(63)  
萩荘

更生保護功績  
保護司

一関市出身。農業の傍ら昭和55年に保護司となり、一関地区保護司会事務局長、副会長を経て平成16年から会長、18年からは県保護司会連合会副会長も併せて務められ、更生保護に尽くされています。「35歳で保護司を拝命し、さまざまな出会いの中で自分も学びながら務めてきました。今後も、対象者が立ち直り、社会の中で生活できるよう、支えに力を注ぎたい」と語られました。

一関市千厩町出身。栄養士兼看護婦として民間の病院で勤務後、昭和30年旧小梨村保健婦。31年に旧千厩町保健婦となり、予防主任保健婦、保健婦次長を経て59年から2年間、保健婦長を務められました。長年にわたり、母子保健衛生の向上や成人病予防、栄養士の経験を生かした食生活改善など、各種保健活動の中心として活躍され、町民の健康づくりに尽くされました。

## 瑞宝単光章



大山つぎ子さん(80)  
千厩町清田

へき地保健衛生功労  
元千厩町保健婦長

# 危険業務従事者叙勲

危険性の高い業務に長年尽力した人に対する叙勲が発表され、市内からは2人が栄誉に輝かれました。

## けやきベーカリーズ (大東)



全国大会へ  
晴れの出場

## 東山ハイシニアソフトボールクラブ



障害者福祉サービス事業所室蓬館Ⅱ大東町の「けやきベーカリーズ」は、知的・精神障害者らによるパンや菓子作りのコンテスト「第3回ユニバーサルベイクングカップ」全国大会(12月1日に横浜市で開催)への出場を決めました。同施設がパン作りを始めて3年目となる今年、同大会への初挑戦で書類、製品の予選を勝ち抜き、全国8チームの一つ、東北・北海道では唯一の代表に選ばれたものです。

10月31日、大会出場メンバーの伊東勝己さん(49)、藤原堅一さん(38)、鈴木義則さん(43)、千田京子職業指導員と金野施設長が、出場報告のため市役所を訪れました。写真。浅井市長が「素晴らしいこと。一関の代表として頑張ってください」と激励。伊東さんは「めったにないチャンス。全国大会では1位を目指します」と抱負を語りました。

東山ハイシニアソフトボールクラブの菅原文男代表(69)、菅原勝男監督(70)、安東昌治選手(69)の3人は10月22日、市役所に浅井市長を訪ね、第2回全日本ハイシニアソフトボール大会への出場を報告しました。写真。65歳以上の選手で行われる同競技。同クラブは週3回の練習を重ね、過日花巻市で行われた県予選で見事優勝し、全国大会への切符を手に入れました。

浅井市長は「本当におめでとうございます。熊本での活躍を期待します」と激励。菅原代表は「まずは1勝できれば2勝を目標に戦ってきます」と、控えめな中にも力強く健闘を誓いました。全国大会は10月26日から28日まで熊本市で行われ、同クラブは惜しくも2回戦で敗退しましたが、初戦で地元熊本チームに勝利するなど、全国の晴れ舞台で見事な活躍を示しました。